



### 石段を慎重に踏みしめ

## 神社で厄払い

生涯のうちで、厄（災難）の多いとされる節目に、神社で厄払いする風習が古くからあり、2月1日には町内の神社で祈願祭を行う風景が見られました。

七日市地区では、合同祈願祭に出席する33歳の女性が、申し合わせにより丸まげは中止したものの、艶やかな留袖に身を包み、神社への長い石段を慎重に踏みしめ、神社へ向かっていました。

### 人口と世帯数

（住民基本台帳による）

1月31日現在		(前月比)
総人口	25,237	(22人減)
(出生	26人	転入 42人)
(死亡	24人	転出 67人)
男	12,292人	(15人減)
女	12,945人	(7人減)
世帯数	7,306世帯	(2世帯減)

# 全町の協力委員会議

## 南中の早期新築を

住民と町を結ぶパイプ役として活動されている協力委員の全体会議が、一月二十三日午後一時から中央公民館で開催されました。町内の委員百二十一人が参加。永年勤続された九島勇吉氏ほか七人が表彰されました。また各協力委員から出された要望事項に対し、熱心な質疑応答が行われました。

### 永年勤続で8氏を表彰



はじめに出川町長は、五八年度の行政全般にわたって報告をし、「町政は様ざまな問題をかかえているが順調に推移している。公共事業は今年度分発注済みで九五%の完成率。稲作は全国的には不作であったが、当町は一昨年より千二百俵多く出荷。余り米も高く消化できた。二カ年事業で鷹小、摩当簡水が完成。一億二千万円で側溝改良。建設

中の鷹巣児童館はじめ旧鷹小、旧中央保育園は地域活動にも役立てたい。北健康増進センター、サブ体育館、鷹中第二体育館は、体力づくりとインターハイに有効に活用したい。八月のインターハイは、美化運動で町民の協力をえると同時に、何らかの形で全町民が参加してほしい。財政は国の税収が硬直しており、町でも将来にツケを残さないために、大ナタを振って効果的な運用を図りたい」など述べました。

また、七年以上協力委員として貢献された九島勇吉(新旭町二区)、伊藤武志(三吉町)、村上鉄治(西住吉町)、畠山慎之進(藤株)、小笠原栄蔵(大畑)、津谷喜市郎(深閑)、相馬瑞郎(上舟木)、村上茂生(掛泥二区)の八氏が永年勤続者として表彰され、町長から賞状と記念品が手わたされました。そのあと、各課から連絡事項が説明され、前もって提出された要望事項にしたがって、質疑応答が行われましたが、主なものとは次のとおりです。

- ▼歯科開業医の充足について 現在四機関で常勤九人、非常勤三人で暫時向上している。
- ▼企業の誘致について 全国的な問題であるが、現在大野台内陸工業団地に誘致されている企業では、求めている若年女子の就労は六〇%と低い。むしろ既存企業の雇用拡大に努めたい。

また五九年度は予算措置しながら働く場の拡大を図りたい。

- ▼し尿の汲み取りについて 全町計画汲み取り収集にしたい。
- ▼湯の倍温泉までのバス運行 多少の赤字補填を覚悟のうえ、鷹巣より比内・大館の運行について要望している。
- ▼旭町の墓地跡地利用について 入雨あけに整地して遊園地として活用したい。
- ▼中央公民館分館に、ストロップを移動式五個を購入している。

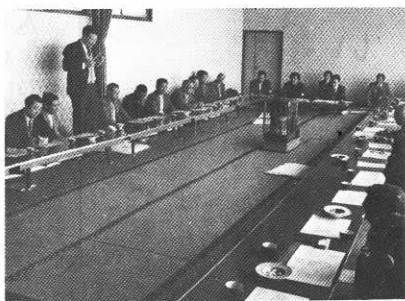
- ▼ゴミ集積所の増設について 目安として、いずれの集積所より百軒離れ、世帯数が二十世帯以上の許可を得た場合に許可する。
- ▼南中学校の早期新築について 場所が藤株周辺でつまっているが、相手があることなので早い機会に調査、折衝したい。
- ▼石倉山スキー場の整備充実 中央小、南小、南中が利用しており、今後は調査して整備に協力したい。

## 町長と語る会 七日市地区

七日市地区の「町長と語る会」は、一月二十八日午後二時から七日市観光会館で開催されました。

語る会では、地区内の道路や側溝の改良整備や、林道、キャンプ場の整備などで多くの要望が出されましたが、町長は「町政は順調に推移しているもの、町の財政も厳しい時代となった。総べての要望には応えられないが、効率的な整備は検討したい」と述べました。

また、住民の関心の深い要望が出され、工場用地取得について「企業誘致しても、後で騒音、大気汚染、排水の苦情が多い。このような条件が満たされた土地については調



査したい。▼南中学校の建設について 学区は教育委員会に属するものだが、位置については藤株、脇神周辺で、早ければ五九年度に調査のうえ用買交渉したい」と答えました。

# 水田利用対策会議

## 第三期は四四七ヘクタを転作

### 四月上旬には正式配分

転作の定着化が図られているなかで、水田利用再編第三期対策が、昭和五十九年度を初年度に三カ年計画で進められることになりました。町では、一月二十七日水田利用再編対策協議会を開き、配分方法などを協議しました。協議の結果、二月中旬まで集落ごとの配分、四月上旬には集落また各農家ごとの正式配分することになっておりますので、農家のみなさんのご協力をお願いします。

転作の定着化と食糧の安定供給をはかるため、五十九年度か



ら六十一年度まで新たに、水田利用再編第三期対策が始まります。

県から示された計画によると、第三期対策では、第二期対策（五十六年～五十八年）の固定配分五百三十九ヘクタ（実際には、五十五、五十六年の天候不順による減収で、五十六年に二十二ヘクタ、五十七年に六十五ヘクタ、五十八年に九十三ヘクタの軽減措置がとられました）より、九十二ヘクタ下廻った四百四十七ヘクタの転作目標面積の配分となりました。今回の配分面積も、五十七、五十八年の作況指数は、当町が「一〇六」、「一〇三」でした

が、全国では二年続けて「九六」の「やや不良」であったことから、全国的に米の安定供給を高めるために、第二期を参考に緩和措置がとられたものです。

#### 限度数量は

一九三、〇四六俵

産米の限度数量は十九万三千四十六俵（六十ヘクタ入れ）。このほか転作配分面積に含まれますが、他用途利用米生産予定数量（米）、醤油などの原料米で買い上げ価格（一万円）は、四十二・六三ヘクタで三千九百九十三俵（六十ヘクタ入れ）となっています。二十七日に開かれた水田再編対策協議会には、町、議会、農委、各農協などから代表者が出席。県から示された転作目標面積、売渡し申し込み限度数量、町水田利用再編対策などについて協議しました。

協議の結果、▼新規開田があった場合次年度二倍の面積を転作する▼飼料作物の転作者（耕種農家）は有畜農家と契約ある

場合のみ転作補助ならびに面積積入することができる▼転作地が荒廃（捨て作り）地と認定され改善を指示されても改善しない場合は転作補助対象ならびに面積は算入しないことができる。などを決め、各農協ごとに第三期の転作目標仮配分面積を次のとおりとしました。

- ▼栄農協 四十三・二三ヘクタ
- ▼鷹巣農協 二十・七一ヘクタ
- ▼西部農協 八十四・七六ヘクタ
- ▼沢口農協 九十五・〇五ヘクタ
- ▼綴子農協 百四十四・九二ヘクタ
- ▼七日市農協 八十八・三六ヘクタ

#### 転作の定着化めざし

また、転作を定着させ、農畜物の産地化をはかるため、左記表のとおり、奨励補助金単価（見込）

第3期の奨励補助金単価（見込）

	基本額 ※鷹巣町 (平均)	転作定着化推進加算	
		第1種加算	第2種加算
転作奨励補助金	永年性作物	53,000	10,000
	特定作物	45,000	10,000
	一般作物等	30,000	10,000
	野菜	25,000	10,000
管理転作	30,000	15,000	10,000
奨励補助金	25,000		
土地改良通年施行補助金	25,000		

(10アール当り、円)

**列車はすぐには止れない**  
踏切でエンストしたり、踏み外したら、あわてずに先ず列車を止めよう。  
①非常ボタンを押す。  
②非常ボタンがないときは発火筒や赤旗をふる。

込み)となっております。転作定着化推進加算は、第一種加算(①団地加算②集落恒久転作加算)と第二種加算(①集落転作加算②地域特産作物加算③高度利用加算④特認加算)で転作の定着化に努めることになっております。

# 寒さを飛ばす



▲小学校男子リレー優勝の七座のメンバー

▶後半の難所、四百メートルの登りを一気にかけ上がる



▲小学校女子リレー優勝の鷹巣

▶壮年の選手も力走



## 小男リレーは七座が初優勝

### 女子は鷹巣が逃げ切る

第二十二回町民スキー大会は二月五日午前九時から町営薬師山スキー場で開催されました。

当日は最高気温がマイナス3・5度と、横なぐりの吹雪が舞う凍てつく寒さのなか、小学校から壮年まで七百人余りの選手は、二千人近い観衆の声援を受けて、三十三種目で熱戦が展開されました。各種目の入賞者は次のとおりです。

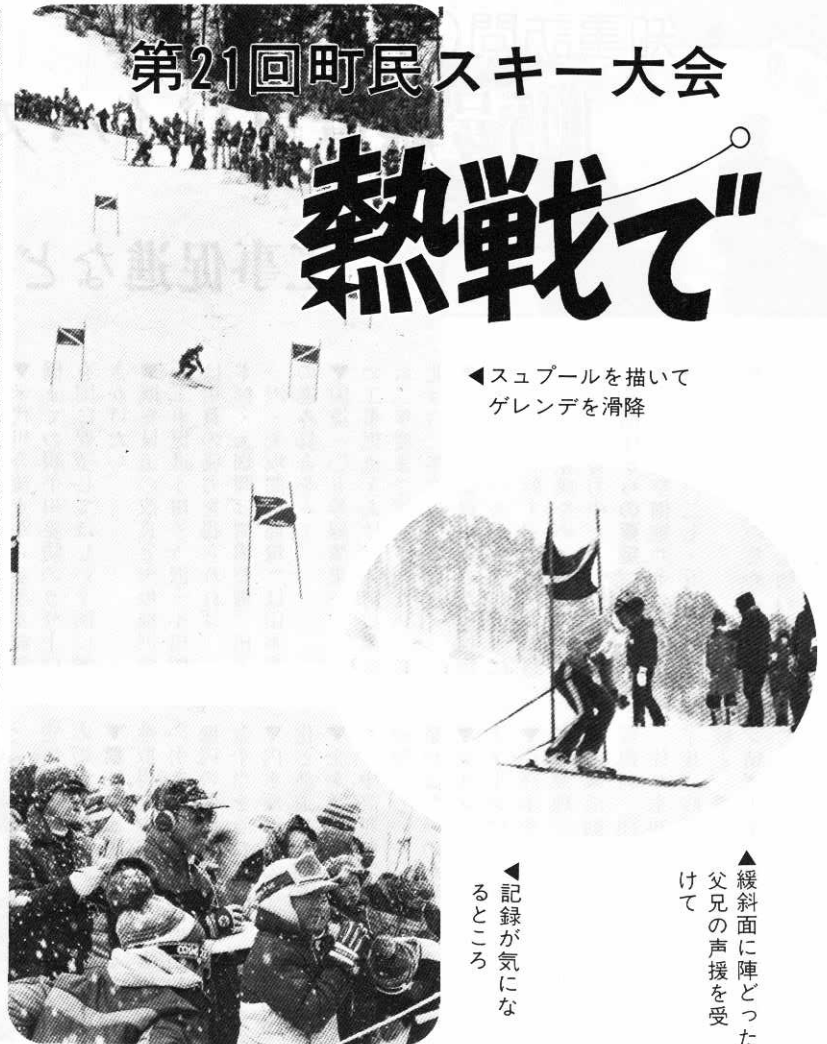
#### 〔回転〕

- ▼四年男子 ①野呂学(坊沢) 35秒66 ②出川敬文(綴子) ③出雲大士(鷹巣) ④金沢正和(沢口) ⑤木村伸宏(栄) ⑥今野道史(鷹巣)
- ▼四年女子 ①長崎せつ子(坊沢) 35秒76 ②野崎由美(鷹巣) ③木村貴子(栄) ④佐藤好子(坊沢) ⑤佐藤由佳子(沢口) ⑥佐藤ルミ子(七日市)
- ▼五年男子 ①高橋喜宏(綴子) 45秒13 ②村井健介(鷹巣) ③桜庭正人(坊沢) ④高橋順(綴子) ⑤成田孝一(沢口) ⑥山山雅道(綴子)
- ▼五年女子 ①本城かおり(沢口) 42秒17 ②堀部香奈(沢口) ③松橋素加世(綴子) ④桜庭恵美(坊沢) ⑤村上咲希(栄) ⑥檜森則子(鷹巣)
- ▼六年男子 ①柴田英和(沢口) 41秒74 ②仲谷征広(七座) ③木村信智(栄) ④沢田直彦(綴子) ⑤中島信行(沢口) ⑥高坂和広(栄)
- ▼六年女子 ①成田江利子(七座) 38秒50 ②藤原加奈子(鷹巣) ③長崎容子(坊沢) ④佐藤有希子(綴子) ⑤松岡恵理子(鷹巣) ⑥渡辺暢子(綴子)
- ▼中学男子 ①金沢正良(沢口) 39秒25 ②佐藤浩(沢口) ③中林誠人(沢口)
- ▼中学女子 ①小塚あつ子(沢口) 38秒41 ②藤島美加(鷹巣) ③工藤文枝(綴子)
- ▼青年男子 ①成田義彦(七座) 35秒47 ②佐藤幸弘(綴子) ③佐藤強(沢口)
- ▼成年前期 ①津谷勝美(沢口) 35秒63 ②五十嵐経(綴子) ③鈴木義光(七日市)
- ▼壮年後期 ①丹信夫(七座) 38秒19 ②中島順悦(沢口) ③武田幹夫(七座)
- ▼成年前期 ①籾内春光(綴子) 35秒47 ②畠山俊逸(沢口) ③成田洋一(七座)
- ▼壮年中期 ①成田金正(七座) 34秒35 ②佐藤卓二(綴子)

# 第21回町民スキー大会

## 熱戦で

◀ スーパーを描いて  
ゲレンデを滑降



▲ 緩斜面に陣どつた  
父兄の声援を受  
けて

▲ 記録が気にな  
るところ

### 冬期間の火災予防

町では、一月二五日に火災による死亡事故が発生しています。また、冬期は積雪、凍結などのため、消防活動に支障をきたす恐れがありますので、火の取扱いは十分注意してください。

- ▼ 就寝前や外出前の火の元点検は確実にしましょう。
- ▼ 幼児、老人、身体の不自由な病人は、避難しやすい場所に就寝させましょう。
- ▼ 屋根からの落雪などによる煙突の破損やガスボンベの配管の破損など点検しましょう。

- ② 中林藤一郎 (沢口)  
▼ 壮年後期 ① 小塚喜三 (沢口) 36秒18 ② 野呂久雄 (七座) 33秒60 ③ 成田久雄 (坊沢)、  
▼ 一般女子 ① 成田洋子 (七座) 33秒60 ② 佐藤クニ (坊沢) ③ 高橋久美子 (鷹巣)  
▼ 初級の部 ① 北林光子 (鷹巣) 33秒30 ② 野崎智佐子 (鷹巣) ③ 奈良久枝 (鷹巣)  
【距離】  
▼ 四年男子 ① 村上鉄也 (栄) 4分59秒 ② 相馬宏之 (栄) ③ 明石哲晃 (沢口) ④ 中島正晶 (鷹巣) ⑤ 佐藤義彦 (鷹巣) ⑥ 伊賀寛博 (沢口)  
▼ 四年女子 ① 亀山優子 (栄) 5分0秒 ② 小坂佳子 (栄) ③ 佐藤明子 (綴子) ④ 伊藤真由美 (鷹巣) ⑤ 亀山絹子 (栄) ⑥ 田村直子 (栄)  
▼ 五年男子 ① 戸沢英隆 (七座) 12分32秒 ② 佐藤久和 (鷹巣) ③ 成田貢一 (鷹巣) ④ 畠山清光 (七七日市) ⑤ 飯村徳人 (鷹巣) ⑥ 布田大二 (七七日市)  
▼ 五年女子 ① 伊藤陽子 (栄) 10分14秒 ② 佐藤祐子 (鷹巣) ③ 久留島真理子 (七七日市) ④ 山内和子 (綴子) ⑤ 蛇川真紀子 (坊沢) ⑥ 松橋五月 (綴子)  
▼ 六年男子 ① 簾内久 (七座) 11分57秒 ② 長岐修 (七七日市) ③ 鈴木博 (七七日市) ④ 成田昭人 (七座) ⑤ 藤島直哉 (鷹巣) ⑥ 松橋崇 (鷹巣)  
▼ 六年女子 ① 伊藤裕美 (鷹巣) ② 中林藤一郎 (沢口) 9分33秒 ③ 吉岡綾子 (鷹巣) ④ 千葉絵利子 (七七日市) ⑤ 中島美鈴 (沢口) ⑥ 千葉恵 (七七日市) ⑦ 長崎友子 (綴子)  
▼ 中学男子 ① 相馬公人 (鷹巣) 11分25秒 ② 前田紀人 (沢口) ③ 正田敏幸 (栄)  
▼ 青年男子 ① 畠山孝秀 (七七日市) 10分16秒 ② 長岐勉 (七七日市) ③ 相馬晶行 (七七日市)  
▼ 成年前期 ① 長岐正人 (七七日市) 9分45秒 ② 高橋富美雄 (綴子)  
▼ 成年後期 ① 簾内順一 (七座) 9分15秒 ② 奈良一夫 (沢口) ③ 今川茂 (綴子)  
▼ 壮年前期 ① 中島民利 (沢口) 4分26秒 ② 亀山誠 (栄) ③ 出川吉弘 (綴子)  
▼ 壮年中期 ① 簾内知弥 (七座) 4分09秒 ② 鈴木一弘 (綴子) ③ 成田弘 (沢口)  
▼ 壮年後期 ① 長岐竜一 (七七日市) 4分53秒 ② 佐藤福治 (七七日市) ③ 藤谷重勝 (七座)  
【リレー】  
▼ 小学女子 ① 鷹巣 28分47秒 ② 沢口 ③ 東A ④ 坊沢 ⑤ 綴子 ⑥ 七七日市A  
▼ 小学男子 ① 七座 35分35秒 ② 鷹巣B ③ 沢口 ④ 七日日市A ⑤ 鷹巣A ⑥ 坊沢。  
▼ 成年 ① 七日日市 8分36秒 ② 綴子  
▼ 壮年 ① 七座 8分04秒 ② 沢口 ③ 七日日市

# 知事訪問(行政懇談会)で 105号線鷹巣バイパスの

## 工事促進などを要望



佐々木知事は、二月一日当町を訪問し、要望や意見を聞く「行政懇談会」を午後一時から鷹巣町農協ホールで開かれました。知事は「地方交付税が落ち込み事業の完全実施がむずかしい。鷹巣町は、過疎の激しい阿仁郡をかかえており、まず阿仁郡の開発が重要」とあいさつ。出川町長の歓迎のあいさつのおと、町や参加団体長から出された要望や意見に答弁しました。

### 〔町からの要望〕

▼米代川合流点から奥羽本線鉄橋までの綴子川堤防のカサ上げを国に要望してほしい。国に働きかけた。

▼既在県道の改良と矢坂糠沢線の工事促進。田子ヶ沢・小田間は用買の協力を得られれば、二本杉・大畑間は側溝整備。田子ヶ沢・矢坂間(郡境)は山本郡の進み具合をみて。

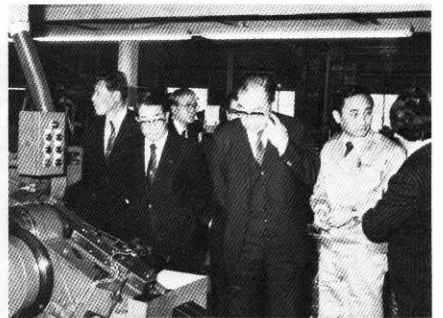
▼国道一〇五号線鷹巣バイパスの工事促進。あけぼの町以南は六二年度まで完成させたい。以北は六二年度以降になる。

▼都市計画街路事業の新規採択。鷹巣バイパスが六二年度中に一部供用開始するので、要望路線の同時完成をめざし新規採択に向けて努力中だ。

### 〔各団体からの要望〕

▼県営圃場整備補助金のカサ上げを。現行の二七・五%負担を維持したい。

▼中核農家育成のため畜産資金に利子補給を。畜産物の価格安



定に努力しているが、県でも対応の方向で検討したい。

▼農地の流動化を進めるため農地取得資金のワク拡大と限度額の引き上げを。国に要請し七〇億円の要望のうち六〇億円の資金手当をした。

▼内水面漁業の振興。河川の浄化と漁道の整備をしたい。

▼企業誘致を。若い人だけでなく、中高年齢者も採用する企業が見えませんが、期待どおりの企業がこないのが現状だ。

▼マルメロの加工施設がほしい。メーンになる利用法が先決。

▼小径木を公共事業に。現段階では無理。二次加工が必要。

▼地域活動センターの促進。関係町村、団体の話し合いが先決。

佐々木知事は、行政懇談会終了後、昨年新築された鷹巣小学校と、男子型誘致企業のクラウン精密工業を見学して帰られました。

■17日(火) 財産区管理会協議会・現在町内に六財産区があり、その区有面積は一、三二二畝に及ぶ。うち秋田県との県行造林一五九畝、秋田宮林局との官行造林地八三畝。ほかは全部町と分収契約を締結。すでに昭和五一年度から町で造林。その面積三二八畝。また財産区で造林等の林地約六九〇畝について、五八年度から本格的に町で、育成管理に当たっている。財産区は新しい観点から将来の財産造成の段階に入った。各管理会とし

則として公社が取得(造成)し十年、十五年で公社に償還する。町村では、債務負担行為として予算決議し、毎年償還額を款項区分して予算計上。五八年度末の公社投資、その他資金八八億円強(負債として長期借入八八億円強)。五九年度は受託事業(つまり構成町村の公共用地取得造成)は二三億円の予定。理事会で承認した。

■23日(月) 毎年一回この時期に全町の協力委員会が行われ、委員二〇人が出席。町



### 町長日誌

出川 禮一

1月17日~31日

ても、積極的に町の対応に取り組むことを確認し合った。

■19日(木) 鷹巣町食料供給基地推進大会が役場で開かれた。大会には、町内の農業団体及び農家の参集を得て、優良実践者の発表など現下の厳しい農業情勢を直視し、将来展望等々協議した。

■20日(金) 秋田市で行われた秋田県内村土地開発公社理事会と秋田県町村会総務委員会に出席。土地開発公社は昭和四八年に、県内の町村が出資して公社をつくり、町村の公共等用地を取得する際、原

の一般事項について説明したあと、各委員から予め提出された要望意見等に解答する。

■27日(木) 秋田県大館北秋育英会役員会と秋田市在住北秋会総会に出席。

■30日(月) 北秋田郡町村会定期総会が開かれた。昭和五九年度の北秋田町村会の重点要望事項、予算決定、そして法例外の構成町村の諸団体への補助金等審査決定した。

■31日(火) 李岱地区に小規模簡易水道が竣工。地区民とともに水不足解消を喜び合った。

おしらせ

生涯教育学習の発表会を開催す

二月二十六日午後一時から発表会を開催します。発表会では学習方法や形態、組織など仲間意識の高揚と効果的な学習について研修することになっています。また「学習社会を生きぬく」と題して記念講演。学級生の演示発表で交流会を企画しています。交流会参加者の会費は千円です。

十六ミリ映写の講習会に参加を

大館市北秋田郡地域視聴覚教育協議会では、学校教育や社会教育の充実をはかるため十六ミリ映写機操作技術講習会を次のとおり開催することになりました。

＝ 申告相談日程表 ＝

Table with columns: 月日, 申告会場, 申告相談時間 (午前9時~正午, 午後1時~午後4時). Rows list dates from 15 to 29 and locations like 坊沢公民館, 大畑会館, etc.

▽日時＝二月二十六日(月)と二十七日(火)の二日間。午前九時から午後四時三〇分まで。▽場所＝中央公民館▽内容＝理論と実技▽受講料＝五百円(テキスト代)▽申し込み＝二月十八日まで鷹巣町教育委員会へ。持参するもの＝筆記用具、ハサミ、昼食。なお十六ミリ映写機操作検定試験に合格した方で、三年目になる方は次により更新手続きをしてください。二月二十日は、午後一時から五時まで、二十一日は午前九時から正午まで、中央公民館で受講手続きをしてください。

町議会議員の投票日は3月28日

ことしは町議会議員の改選期です。今回の選挙は新しい公職

選挙法によって行われますので、告示日が三月三日(金)、

投票日が三月二十八日(水)と決定しました。

(先号で告示日を二五日と誤って記載しましたので訂正します)

郷土史年表

Table with columns: 西暦, 昭和, 昭和三九, 事, 項. Lists historical events such as 'Fukazawa Elementary School P.E. completion' and 'Mitsubashi School P.E. completion'.

(次号へつづく)

# 新刊図書紹介

## 公民館付属図書館



最近購入した新刊図書の中から、みなさんに読んでもらいたい本を紹介します。

貸し出しもしますので、ご利用ください。( )は著者。

▽大変動(アルビン・トフラ)  
 △霧の中(佐川一政)▽八犬伝上・下(山田風太郎)▽美貌なれ昭和(深田祐介)▽わたしの三面境(沢村貞子)▽シートン動物記(アーネスト、T・シートン) 1私を知っている野生動物、2狩られるものの生活 3野生動物の生き方▽仏教を読む「捨ててこそ得る」「一切は空」「こころの開眼」▽カンガール日和(村上春樹)▽光る女(小松山博)▽歴史ロマン 天翔る白日(黒岩重吾)▽愛見つけた

(小林吾吾)▽意識革命のすずめ(広岡達郎)▽先生涙をください▽二十三分間の奇跡(ジェームス、クラベル著・青島幸男訳)▽魔境へ・無頼殿(西村寿行)

▽秋田県人として生まれ、現在も秋田に住みながらの作家生活をしている二人の最新著▽ワイリピン・ノート(和田多七郎)▽市右エ門の玉手箱(野添憲治)

【秋田県関係】▽短歌集秋田県歌人、昭和二十人集▽秋田の民芸▽秋田の力士たち▽秋田鉄道一〇〇話▽秋田の油田▽芹澤歳時記▽秋田県仙南村の地主佐藤家で明治十六年から昭和十三年までの半世紀にわたる日記、当時の農村を知る貴重な文献。

▽日本の神話全六巻Ⅱただ神様を載せるだけではなく、その意味、ゆらい、をわかりやすく解説、更に写真で神話に記されている場所を見ることができるとよい。

▽広漢和辞典全三巻Ⅱ利用者のための索引が別巻としてある。文字二万語、熟語の数十万語の意味を解明。

▽宇宙からの帰還(立花隆)Ⅱ宇宙飛行士たちの長く胸に秘めておいた本音のメッセージ、彼らの生き方は、宇宙体験によっていかに変わったのか。

▽隆元、先端技術に挑む(細川隆元・牧野昇)Ⅱ二一世紀を目前にし、いま世界を揺るがす先端技術の波の中で、「先端技術」という言葉に惑わされていないだろうか。科学技術と人間の基本の関係を問い直す。

▽アイヌ語地名の研究全四巻(山田秀三)Ⅱ著者が三十年間こつこつと研究してきた東北、北海道のアイヌ語の地名と、その意味を詳解。

▽世界の議会全一二巻Ⅱ世界各国地域の議会を、政治文化の中で生き生きと描き出しており、これほど大きいスケールで、世界の議会の立体像を知ることのできる書は、他にはありません。

▽ギリシア神話全一二巻Ⅱお母さん、子供達と一緒に読んで美しい絵と神話のロマンを楽しみましょう。

# ふるさと人物伝 61

佐藤徳治 一八七八—一九六七



「綴子村史」は昭和三四年、鷹巣町への合併直後に発行されているが、その原型となったのは、昭和六年、達子勝蔵編「綴子郷土読本」昭和二四年佐藤徳治著「郷土夜話、肉入籠」であるという。ともに四〇五〇頁の小冊子で約百冊発行されている。

「綴子」の語源「肉入籠」(シシリコ)はアイヌ語の地名で、日本書記によると「斉明天皇の四年(一三一八)阿倍比羅夫が淳城の蝦夷をうち米代川をさかのぼって肉入籠まで来た」ということから出たものである。

佐藤惣右エ門の子として生まれた。同十八年綴子小学校に入学したときの校長が内藤虎次郎(湖南)先生で、二年間直接指導を受け、そのことを誇りに思いくわしく書いている。

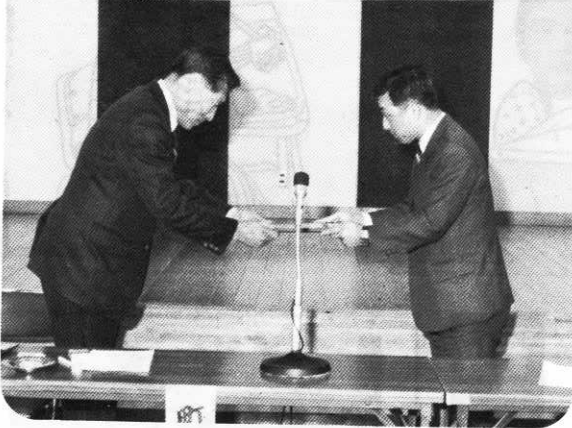
明治三十一年、秋田師範講習科を卒業なお向学の希望やみがたく上京し、東京市竜岡小学校訓導を勤めながら東京物理学校にも学び、埼玉県熊谷農業学校教諭となる。

一年ほど勤めるが、郷里の父母のことを思い明治三八年、大館中学校(現鳳鳴高校)に転勤する。この頃の大館中学校は新校舎ができ清新の気があふれ、数学の担任で寄宿舎の舎監でもあった彼は張り切っていた。ところが明治四三年五月、校舎・寄宿舎が全焼、校長は責任をとって退職、教員も処分をうけるといふ大事件があった。首席教諭の彼は校長事務取扱を命ぜられ、重責を果たすが、大正十二年、四十六歳の若さで退職。その後は弘前や東京で私立学校の教師を六十八歳まで務める。「郷土夜話」は七十二歳のときの著で、外に随筆「白髪」歌日記「山乃木」「追憶」がある。

(資料提供 甥 村上士良氏) 文責 長崎 久



### 昭和58年度鷹巣町協力委員全体会議



#### 電々から回覧板が寄贈

鷹巣電報電話局（石沢広文局長）では町民のくらしに役立ててほしいと町に「かいらん板」580個を寄贈しました。回覧板は深緑りの二ツ折りで、表紙には東北電気通信局長賞を受章された中央小学校5年・近藤雄樹くんの絵が収められています。中には町民が戸籍や住民登録に必要な注意事項が記入されており、集落の広報活動にも活用でき、住民から好評をえています。



冬期間の運動不足を解消しようと、21年前から実施されている町民卓球大会は、1月29日鷹巣農林高校で開催されました。団体では男子が職業訓練校、女子が役場、男子単は中島信咲、女子単は日下部まり子、男子オープン・松尾陽悦、ベテラン35歳・羽沢秋夫、同45歳・鈴木栄、中高男子単・大田博、中高女子単・村上陽子各選手がそれぞれ優勝を飾りました。

#### 卓球で職業訓練校が初優勝



### 鷹巣町芸術文化協会 創立15周年記念 演奏会

#### クラシックファンもうっとり

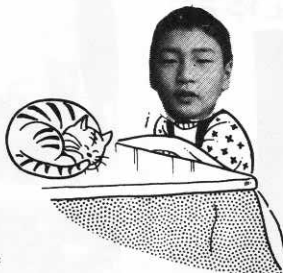
鷹巣室内合奏団（岸部陸団長）は町芸文協15周年記念事業として1月29日鷹巣小学校で演奏会を開催しました。同合奏団は52年に発足し川口洋一郎、北島智仁両氏の熱心な指導で、定期的に演奏会を開いていましたが、今回は秋田市管弦楽団の協力をえてベートーベン作曲の名曲「運命」を演奏。会場を埋めつくしたクラシックファンをうっとりさせていました。

水不足の解消と良質の水を確保しようと、李岱地区では山村振興事業で、小規模水道事業を進めてきましたがこのほど完成。1月31日に、県や町、関係者多数が出席して竣工を祝い合いました。李岱集落は12戸ですが計画給水人口は63人で、1日14.29立方メートルを必要とするもので夏場の水不足は頭痛の種でしたが、地区住民はこれでひと安心と大喜びでした。

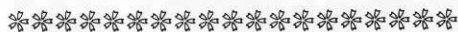
#### 李岱地区でも水不足が解消



# の広場



中央小学校一年  
工藤 思郎くん



今泉の上悪戸地区は、カドミユウム汚染による公害で、米代川の築堤工事と共に、土壌改良の必要がありました。工事の着工にあたり、個人所有者から、承諾書のとりまとめで約一・五町歩の田畑が減少されることとなり、反対者の意見



今 泉 伸村 善治 (70)

## 今回のテーマ『基盤整備について』 汚染田が美田に

などもあって、当時の改良区役員方々の説得も大変だった。幸いにして、全員承諾の意を得て工事が着工することになりました。施工完了後は、カドミユウム汚染、毎年の米代川豪雨による水害減反などが余儀なくされてきたが、今ではこれらの心配もなくなりました。圃場の基盤整備もなされ、立派な美田に変わり、配水路及び農道も完備、諸車の運行も自由自在になりました。農作業が効率的になり、当時の反対者も、現在では工事が施工されたことをとても喜んでいる次第であります。

## 対談 親の意見・子供の意見



カラマツ (球果)  
(マツ科)

落葉高木、葉のつき方は、たばになってつくので東生、一名、フジマツ、ニッコウマツとも言う。富士山や日光山に多いことから来た名前、落葉松と漢字で書くのは誤用。  
(南小学校 島山益穂先生)

## わたしの自慢こ

### 雪中田植えて『今年も豊作』とでる

綴子上町 高橋 佐一郎 (81歳)

私は来る三月で八十二歳を迎えようとしています。いたって健康で稲作りに励んでおり神に感謝して居ります。稲作りに興味をもち、品評会交換会に出品し始めて昨年で早五十年になりましたが、この間、昭和十四年から昨年まで四十五年間に亘り三等から一等まで毎年賞をいただきました。

特に昭和四十六年、秋田県農事功労賞をいただき、また昭和四十九年には、秋田県代表として天皇陛下へ献上米を献上させていただきました。妻と共に陛下から励ましの言葉をいただきました。深く感謝しました。

さて今年も昔の農家の行事である雪中田植及び稲刈を行いました。一月十五日の田植の際には私の師の一人である、営農大学の鈴木先生初め中国の農業研修生十人等が見守る中一株一株ていねいに植え、二月一日に刈取を迎えました。

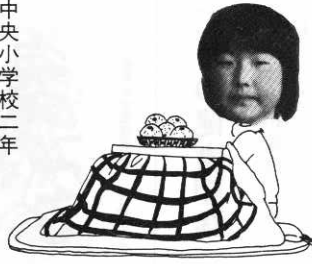
今年の場合も稲にみたてたワラが程良く頭を垂れ、『今年も豊作』と秋に期待をしています。

世の中何かトゲトゲしい昨今ですがこれから先何年も稲作りに精を出し、昔のよき日を偲びつつ雪中田植を続けたいと思います。





中央小学校二年  
木村 さおりさん



# みんな



小ヶ田 力蔵(37)  
中島

## 一〇〇%整備も間近

私の集落は、八十五、六畝の水田面積で、一戸当たり二・四畝と当町では反別の多い方である。しかし未整理地は三十六畝で農作業の苦労は大変でした。私は五〇年から集落の自治会長を努めました。機会あるごとに圃場の整備について話し合いをし、機の熟した五六年に会議に提案した結果、快く承諾を得ました。

基盤整備を真剣に考えたのは、集落では私より若い年代の後継者のほとんどが、会社員や公務

員などで農業の働き手が不足していることでした。朝夕や、土曜、日曜を利用して農業経営が目立ったのと、小型機械を導入しても、集約農業経営を確立できるものと私は考えたからです。

前述のように、未整理地では作業能率が上がらないため、農機具の過剰投資が増すばかりで経営的にも苦しくなってくるのが現状でした。

県や町の援助や農協の協力で七〇%の圃場が整備され、経費の節約と、転作についても農協から適切な指導を受けることができ喜んでいきます。

残りの三〇%は五九年度に完成する予定で、悲願達成も間近です。よく、美田を子孫に残すな」といふ諺がありますが、今では、圃場整備なしでは、後継者が農業から離れて行くと、しみみ考えさせられました。



## 生活害虫

夏は涼しく、冬暖かく、という快適な環境は、害虫にとっても居心地のよいもの。こしばらく鳴りをひそめていたシラミ、ダニといった生活害虫の活動が活発になっています。

シラミで特に最近問題になっているのは、毛髪につくアタマジラミで、四、五歳から小学校

夏は涼しく、冬暖かく、という快適な環境は、害虫にとっても居心地のよいもの。こしばらく鳴りをひそめていたシラミ、ダニといった生活害虫の活動が活発になっています。

低学年の子供たちの間に集中的に発生しています。防虫、駆除に最も効果的なのは洗髪です。ダニは、種類も多く、家の中に持ちこまれる機会も多々あるので、駆除はよく掃除をして、家の中を清潔に保つこと。

和室にじゅうたんを敷くと、通気を悪くするので、ダニの集団発生を招く原因になります。できるだけひんぱんにじゅうたんとあけて、タタミとの間の掃除をすることが大切でしょう。

雪の多い北国では、冬季の体力づくりとリフレッシュは、なんといってもスキーが花形。写真は30年頃の校内スキー大会の様で、長靴にパチンコスキー、ハッピを着込んで力走。現在はスキー用具も競技ごとに装備され、スチールのストックで軽快に走り込み、時代の違いが感じられる。

(写真提供は竜森小学校)



## たかのすの昔

おしらせ



一歳美術会運営委員 九島家三氏

二月の健康相談

二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、二日です。

時間は、午前九時から午後三時まで、血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、二十日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、母乳栄養と妊娠中毒について。

時間は、午前十時から十一時まで。

※場所は、いずれも中央公民館

保健相談室です。

乳児健康診査は、十六日、五年十月生まれとなっています。受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

離乳食実習指導は、十六日、五八年七月生まれとなっています。受付時間は、午前九時三十分から十時まで。乳児健康診査も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

麻疹(はしか)の予防接種

麻疹(はしか)の予防接種を二月二十九日から三月二日まで、左記のところで行いますので、この期間に接種を受けてください。

今回の対象者は、五九年二月二十九日現在で生後十八カ月から三十六カ月に至る幼児(ただし、生後十二カ月から七二カ月に至る幼児は受けられます)となっております。

五九年六月二一日までに七十二カ月に至る幼児も含まれます。

接種時に必要な接種券の交付を受けた保護者は、二月二二日から二五日まで、公民館保健相談室へ、母子手帳を持参して

おいでください。

接種時間は、いずれも午後一時から二時まで。

2月29日、藤原医院、奈良医院、3月1日、しま医院、2日、北秋中央病院

※接種料金(一人四千円)は、全額町で負担します。

※接種する時は、接種券、母子手帳、問診票を忘れずにお持ちください。

アフリカ干ばつへ救済金を

日赤秋田県支部では、二月一日から三月末日まで、アフリカ干ばつの救済金を募っております。

アフリカの干ばつは、全アフリカ五一カ国中二カ国に被害が及び、被災者はアフリカ全人口の約三分の一、一億五千万人上っております。このため世界赤十字社連盟は、FAO(世界食糧計画)と協議し救済金を贈ることを決定、各国に援助を要請。この要請を受けて赤十字支部では、県民から救済金の援助を求めています。

受け付けは役場町民課福祉係(☎二一―一―一内線一二四)で受け付けておりますので、ご協力ください。

自衛官を募集

自衛隊では、自衛官を募集し

ています。

自衛官へのコースには、二等陸、海、空士のほか、航空学生看護学生、一般曹候補学生、防衛大学校学生、防衛医科大学校学生などがあります。

くわしくは、自衛隊秋田地方連絡部大館出張所(☎〇一八六―四二―一三九八)へ。

善意

秋田銀行鷹巣支店(支店長・佐藤正)から、開設六十周年を記念し、町に植樹資金として、十万円寄付金がありました。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しに町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ご芳志に深く感謝いたします。
- 三浦善高坂次郎さんから亡母ヨ子さんの香典返し
- 舟見町桜庭新一郎さんから亡父嘉市さんの香典返し
- 太田藤島徳逸さんから亡母カツさんの香典返し
- 綴子下町岩谷敏和さんから亡父敏雄さんの香典返し
- 湯ノ岱笹原勇さんから亡父新吉さんの香典返し
- 深関永井通雄さんから亡妻ミエさんの香典返し
- 深関寺田ツルエさんから亡夫敏藏さんの香典返し

慶弔だより

1月16日〜1月31日 誕生おめでとうございます

- 浪岡 美幸(正幸) 長女(掛)
- 佐藤 堅司(博) 二男(脇)
- 齊藤 円(義光) 長女(舟)
- 金沢 丈二(幸治) 二男(掛)
- 田口 絵理(勝荒) 長女(前野)
- 福原 美緒(久美) 長女(摩)
- 小塚 美雪(雄一) 二女(堂)
- 河田 康賢(秀彦) 長女(旭)
- 小塚 和弘(英一) 三男(南)
- 成田 美子(義彦) 長女(太)
- 二人の前途を祝福いたします
- (長崎) 勝作 深関
- (佐藤) 睦子 相善

おくやみ申しあげます

- 岩谷 敏雄(56歳) 下町
- 乳井 キノ(92歳) 下町
- 舟山 ツル(88歳) 掛泥
- 三浦与四藏(54歳) 相善
- 森沢 セキ(54歳) 松葉
- 三沢 フチ(83歳) 大堤
- 寺田 敏藏(60歳) 深関
- 永井 ミエ(56歳) 深関
- 河田与茂七(60歳) 元町
- 明石 芳男(49歳) 前野
- 明石 勝男(19歳) 前野
- 畠山 ヨシ(88歳) 松葉
- 田中 長七(78歳) 元町
- 近藤 チョ(66歳) 高野
- 泉 多次郎(71歳) 下町
- 五代儀セツ(78歳) 米代
- 村上 民郎(61歳) 掛泥